

外観



校舎の大規模改修工事にあわせて、西側の1Fから4Fのトイレの改修工事を実施。今後バリアフリー対応として西側にはエレベーターも設置される予定。

教室



今回改修を行った教室は、床や建具に木を使用し、温もりを感じさせる教育環境を実現している。

1F 職員・来客用トイレ 洗面コーナー



木目調の人工大理石カウンターを採用した洗面コーナー。横には化粧ポーチなどを収納できるキャビネットを設置。トイレの床は清掃性を高めるために床材を壁まで立ち上げ、壁と床の継ぎ目をなくしている。

1F 職員・来客用トイレ 大便器ブース



子どもたちのトイレ同様、自動洗浄式の節水便器を採用。介助者も一緒に入ることができる、広めの大便器ブースを1ヶ所設置。出入りのしやすさを考慮し、折戸を採用している。

3F トイレ 入口・多機能トイレ



廊下からトイレのなかが見えにくくなるよう視線配慮を実現。また、掃除用具入れは男女共用とし入口付近に整備された。今回の改修で3・4Fにも多機能トイレを新設。全フロアに多機能トイレが完備された。

3F トイレ 洗面コーナー



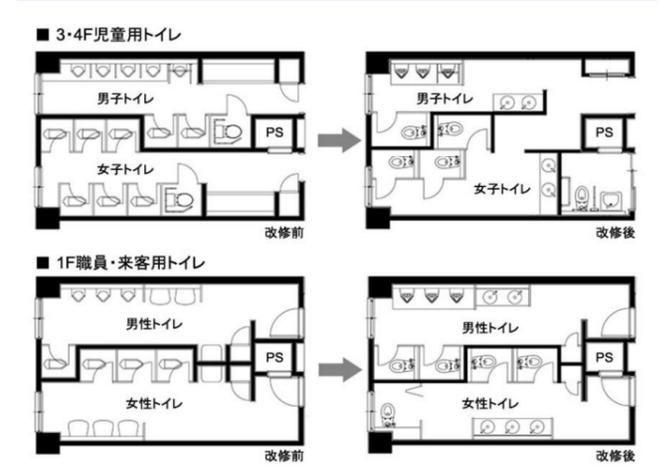
女子トイレはオレンジ、男子トイレはブルーをテーマカラーとして設定し、明るいトイレ空間を実現。水栓金具は衛生面と節水性に配慮し、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用している。

改修前



改修前は、ほとんどが和式便器（各1ヶ所のみ洋式便器）で、廊下からトイレの中が見えだつた。また、掃除の後には床が濡れたままということもあり、大便器ブースの扉などの腐食、老朽化が進んでいた。

トイレ図面



西トイレをすべて洋式便器に変更。2009年に改修を行った東トイレを含め、校舎のトイレは全部が洋式便器となった。

3F トイレ 小便器コーナー・大便器ブース



大便器と小便器も衛生面と節水性に配慮し、自動洗浄タイプを採用。大便器はオートクリーンCとの組み合わせで洗浄水量5.5Lを実現。小便器はジアテクト機能により、尿石の付着やにおいの発生も抑制。

床の乾式化・その他の水まわり



床を乾式化とすることで毎日の掃除も容易に。においも軽減し、ブース材の老朽化も抑えられる。またトイレ以外の水まわりも自動水栓とし、衛生面や節水性に配慮した（写真は3F図書室の水まわり）。

建築概要

名称	門真市立五月田（さつきだ）小学校
所在地	大阪府門真市北島町27-1
施主	門真市
設計	株式会社前田都市設計
施工	<建築> 金川建設株式会社 <設備> 櫻井工業株式会社 大阪支店
工事期間	2013年9月～2014年3月
竣工年月	2014年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
1976年開校の五月田小学校は築40年ほど経過し、校舎やトイレ設備の老朽化が進み、特にトイレは薄暗くにおいがきついななどの問題を抱えていた。また、大便器がほとんど和式便器であり、和式便器を使ったことがない児童の中には、トイレを我慢する子もいた。そのため、校舎の大規模改修工事にあわせて、西側の1Fから4Fのすべてのトイレの改修を行った。

<トイレの特長>
2009年に改修を行った東側トイレの評価に基づいて、西側トイレも「全数洋式便器の採用」「乾式清掃の採用」「自動水栓の採用」を標準仕様としている。また、大便器と小便器は衛生面や節水性に配慮し、自動洗浄タイプを採用。明るく清潔なトイレ空間を実現し、大便器ブースはゆとりあるスペースを確保している。さらに、すべてのフロアに多機能トイレを設置している。

<改修後の声>
児童たちから、「明るくなった」「においがなくなった」「和式便器なのでトイレを我慢することもあったが、洋式便器なので行きやすくなった」などの声が上がっている。